

< 参考資料 >

静岡県日本語教育基本方針検討会議.....	1
本県の外国人を取り巻く状況.....	2
1 静岡県に在住する外国人の概要	
(1) 外国人県民の状況.....	2
(2) 幼児・児童・生徒の状況.....	3
(3) 留学生の状況.....	4
(4) 外国人被用者等の状況.....	4
2 本県の日本語教育の状況	
(1) 外国人県民の日本語能力.....	5
(2) 外国人県民の現在の日本語の学習状況.....	13
(3) 本県の日本語教育の現状.....	20
(4) 日本語教育推進法の認知度.....	21

静岡県日本語教育基本方針検討会議

1 委員名簿

(順不同、敬称略)

氏名	職名等
○坂本 勝信	学校法人常葉大学 外国語学部 教授
高畑 幸	静岡県公立大学法人静岡県立大学 国際関係学部 教授
多々良 博之	焼津市立港小学校 校長
袴田 麻里	国立大学法人静岡大学 国際連携推進機構 国際教育推進部門 教授
松葉 優子	学校法人静岡理工科大学 浜松日本語学院 校長
石川 雅洋	株式会社ソミックマネジメントホールディングス 代表取締役社長
村瀬 勇	社会福祉法人天竜厚生会 総務部長
前田 美咲	袋井市 企画部 多文化共生推進課 課長補佐
キクヤマ リサ	公益財団法人浜松国際交流協会 副主幹
加山 勤子	公益財団法人静岡県国際交流協会 事務局長

○委員長

2 開催実績

	開催日、開催方法	内容
第一回	令和6年8月2日(金) 対面開催(静岡県庁)	・趣旨説明・スケジュール ・基本方針(案)について
第二回	令和6年9月24日(火) オンライン開催	・基本方針(修正案)について
第三回	令和6年11月7日(木) オンライン開催	・基本方針(パブコメ案)について ・調査結果について

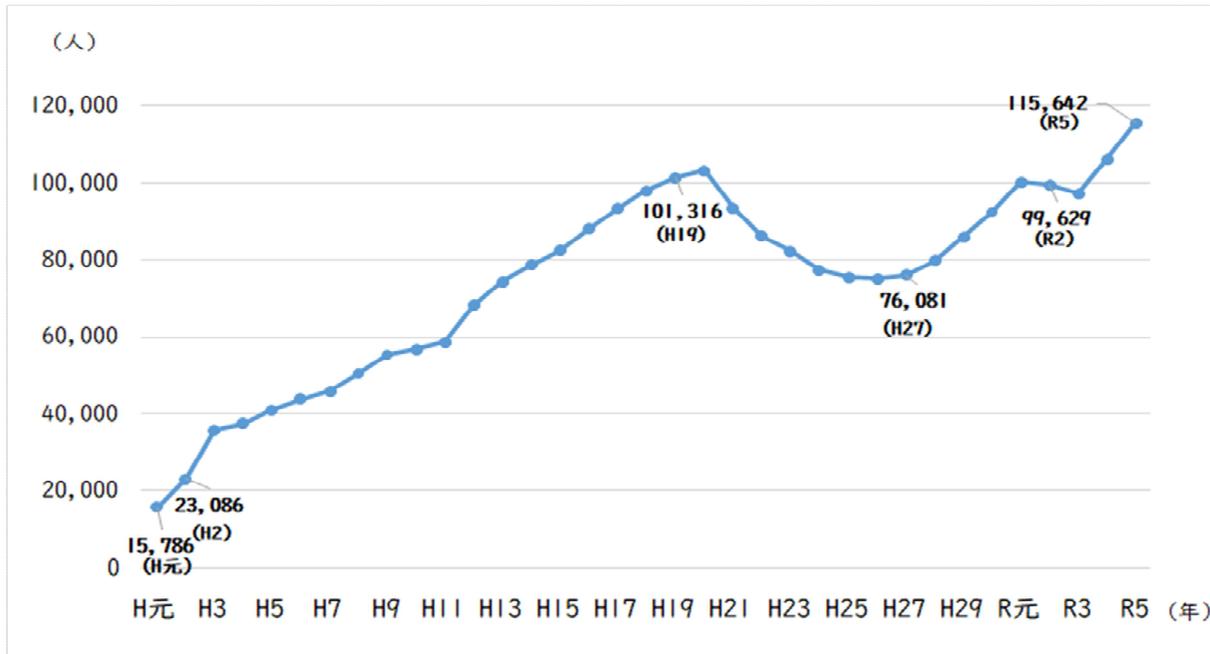
本県の外国人を取り巻く状況

I 静岡県に在住する外国人の概要

(1) 外国人県民の状況

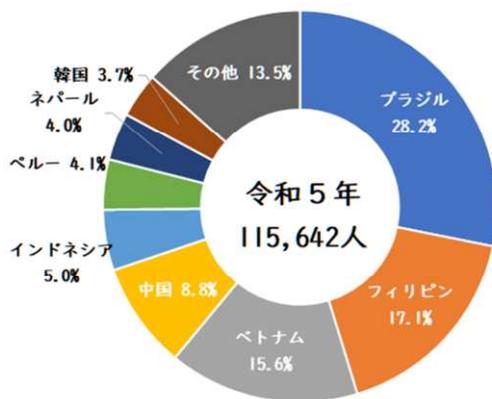
- 令和5年12月末現在、本県に在住する外国人は115,642人で過去最高を記録しました。（全国8位）
- 国籍はブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、インドネシアの順に多く、120カ国以上の国と地域の外国人が県内に暮らしています。
- 身分又は地位に基づく在留資格（※）が61%を占めています。
（※永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者）
- 外国人比率は県内平均で2.86%ですが、第1位の菊川市（8.06%）～第35位の松崎町（0.58%）と地域差があります。

県内在留外国人数の推移

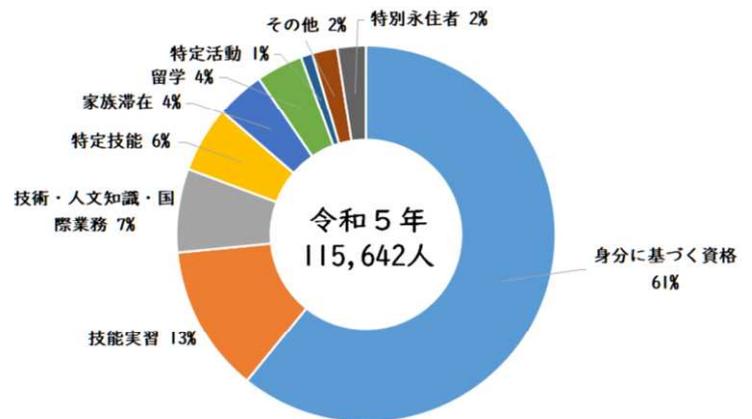


（法務省 在留外国人統計 各年12月末現在 H2～）

国籍別の内訳

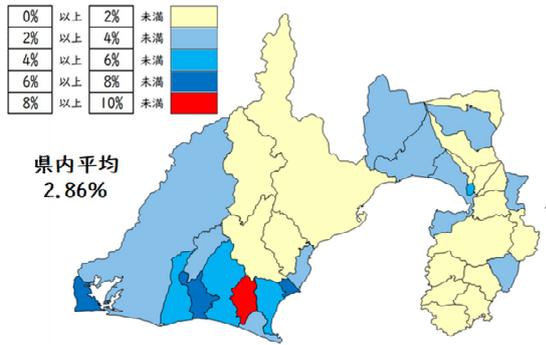


在留資格別の内訳



（法務省 在留外国人統計 R5.12月末現在）

県内外国人比率



(静岡県の推計人口 R6.1.1 現在をもとに作成)

県内外国人数・比率上位自治体

順位	外国人数※1		外国人比率※2	
		外国人数		人口比率
1	浜松市	29,717	菊川市	8.06%
2	静岡市	12,253	吉田町	7.57%
3	磐田市	10,053	湖西市	7.06%
4	富士市	6,991	袋井市	6.15%
5	袋井市	5,922	牧之原市	5.82%

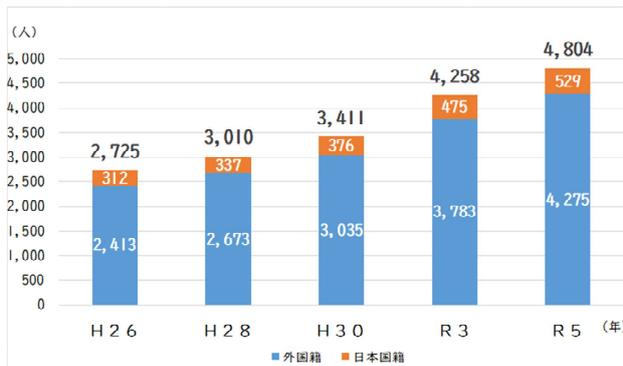
(※1 法務省 在留外国人統計 R5.12月末現在)

(※2 静岡県の推計人口 R6.1.1 現在をもとに作成)

(2) 幼児・児童・生徒の状況

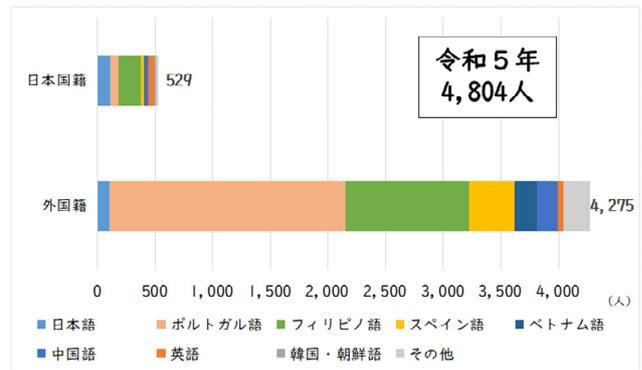
- 県内小中学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒数は日本国籍、外国籍ともに過去最高を更新しました。(全国4位)
- 言語別ではポルトガル語が2,122人、フィリピン語が1,264人で、約70%を占めています。

県内公立小中学校における 日本語指導が必要な児童生徒数の推移



(文部科学省 日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査 各年5月1日現在)

言語別の内訳

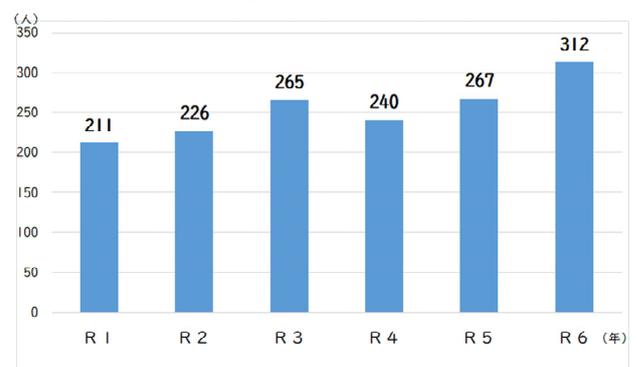


- 近年の県内公立高校に在籍する外国籍生徒の人数は同程度で推移していますが、日本語指導が必要な児童生徒数は増加傾向にあります。

県内公立高校における 外国籍生徒数の推移



県内公立における 日本語支援が必要な生徒の推移



(県教育委員会 教務に関する調査 各年4月1日現在)

(3) 留学生の状況

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受け、県内の高等教育機関等に在籍する留学生の総数は国、県ともに令和元年から大きな変化はありません。
- ・ 一方、日本語学校等の日本語教育機関に在籍する留学生は、令和5年度に本県で2,175人と大きく増加しています。

高等教育機関等に在籍する留学生の人数・推移

(人)

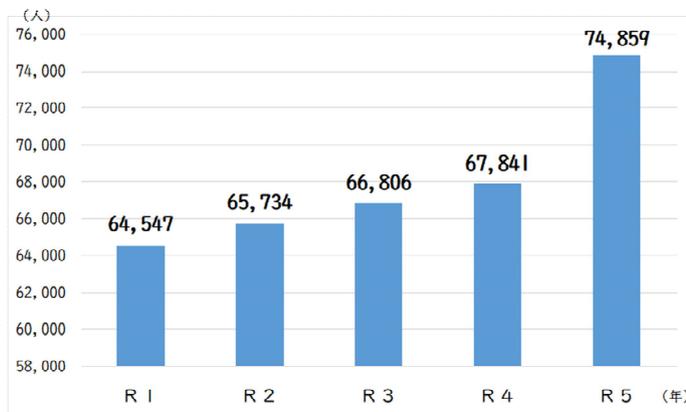
	静岡県				全国
	高等教育機関	専修学校	日本語教育機関	全体	
R1	1,176	1,224	1,198	3,598	312,214
R2	1,206	1,541	1,192	3,939	279,597
R3	1,188	1,604	702	3,494	242,444
R4	1,163	1,036	1,314	3,513	231,146
R5	1,173	567	2,175	3,915	279,274

(独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 各年5月1日現在)

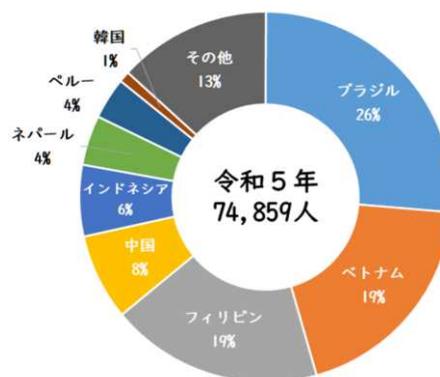
(4) 外国人被用者等の状況

- ・ 県内の外国人労働者数は令和5年10月末現在74,859人と前年に比べて10.3%増加し、過去最高を記録しました。(全国7位)
- ・ 国籍別では、ブラジル、ベトナム、フィリピンの順で人数が多く、在留資格別では身分に基づく在留資格が全体の53%を占めています。
- ・ 産業別では製造業が39%、派遣業を含むサービス業(他に分類されないもの)が28%となっています。

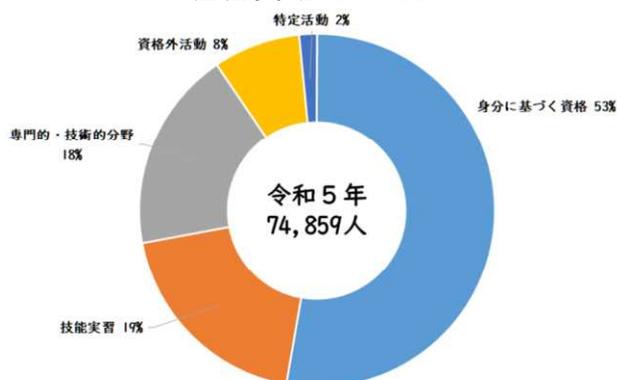
県内外国人労働者数の推移



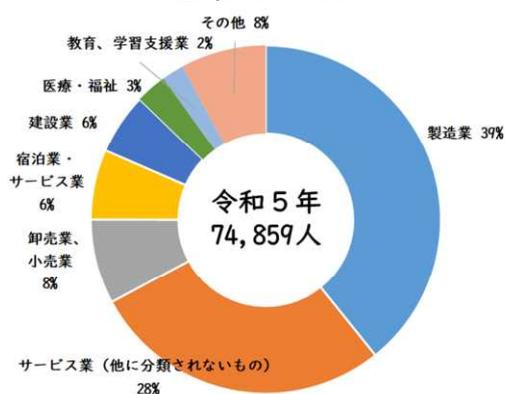
国籍別の内訳



在留資格別の内訳



産業別の内訳



(静岡県労働局 静岡県の「外国人雇用状況」の届出状況 R5.10月末現在)

2 本県の日本語教育の状況

静岡県では、外国人県民の日本語能力等について令和6年度に以下のとおり調査を実施しました。

調査項目は文化庁の作成した「日本語教育に関する調査の共通利用項目」を基に決定し、必要に応じて国籍・在留資格とクロス集計を行いました。

区分	内容
対象者	県内に居住する16歳以上の外国人及び日本人
調査市町	浜松市、静岡市、磐田市、富士市、焼津市
外国人の国籍	ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、インドネシア、ペルー、韓国、ネパール
外国人の抽出数	対象市の住民基本台帳から外国人4,000人を国籍別に無作為抽出
調査方法	郵送及びWEB（郵送物にQRコードを掲載）によるアンケート調査 各国語版と「やさしい日本語」版を同時送付 ※静岡県多文化共生基礎調査と併せて実施
回収結果	外国人調査有効回答数 n = 1467 回収率 36.7%（郵送 18.0%、WEB 18.7%）

(1) 外国人県民の日本語能力

質問項目は、文化庁 日本語教育の参照枠「生活 Can do」における各レベルを参考にしています。

- ・ 自立した言語使用者 :  B2、 B1
- ・ 基礎段階の言語使用者 :  A2、 A1 ・ 基礎段階未満 :  A1 未満

<参考> 日本語教育の参照枠 言語活動別の熟達度

段階	レベル	理解すること			話すこと		書くこと 書くこと
		聞くこと	読むこと	やり取り	発表		
熟達した言語使用者	C2	生であれ放送されたものであれ、自然な速さで話されても、その話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も、難なく理解できる。	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、例えばマニュアルや専門の記事、文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。	慣用表現、口語体表現をよく知っていて、いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。 自分を流ちょうに表現し、詳細に細かい意味のニュアンスを伝えることができる。 表現上の困難に出合っても、周りの人がそれにほとんど気が付かないほどに修正し、うまく繕うことができる。	状況にあった文体で、はっきりとすらすらと流ちょうに記述や論述ができる。 効果的な論理構成によって聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。	明瞭な、流ちょうな文章を適切な文体で書くことができる。 効果的な論理構成で事情を説明し、その重要点を読み手に気付かせ、記憶にとどめさせるように、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。 仕事や文学作品の概要や評を書くことができる。	
	C1	たとえ構成がはっきりしなくて、関係性が暗示されているに過ぎず、明示的でない場合でも、長い話と理解できる。 特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。 自分の関連外の分野での専門の記事も長い技術的説明書も理解できる。	言葉を探求せずに流ちょうに自然に自己表現ができる。 社会や、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。 自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を上手に他の話し手の発言に合わせる事ができる。	複雑な話題を、派生の話題にも立ち入って詳しく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	適当な長さで幾つかの視点を示して、明瞭な構成で自己表現ができる。 自分が重要なと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。 読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。	
自立した言語使用者	B2	長い会話や講義を理解することができる。 また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。 大抵のテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。 共通語の映画なら、大多数は理解できる。	筆者の姿勢や視点が出ている現代の問題についての記事や報告が読める。 現代文学の散文は読める。	流ちょうに自然に会話をすることができ、熟達した日本語話者と普通にやり取りができる。 身近なコンテキスト(文脈・背景)の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。	自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。 時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。	興味関心のある分野内なら、幅広いいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。 エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。 手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。	
	B1	仕事、学校、娯楽でふだん出会うような身近な話題について、明瞭で共通語による話し方の会話なら要点を理解することができる。 話し方が比較的ゆっくり、はっきりしているなら、時事問題や、個人的な若しくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。	非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。 起こったこと、感情、希望が表現されている私伝を理解できる。	当該言語圏の旅行中に最も起こりやすい大抵の状況に対処することができる。 例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語る事ができる。 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。 物語を語ったり、本や映画のあらすじを話し、それに対する感想・考えを表現できる。	身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。 私伝で経験や印象を書くことができる。	
基礎段階の言語使用者	A2	(ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの)直接自分につながるのある領域で最も頻繁に使われる言葉や表現を理解することができる。 短い、はっきりとした簡単なメッセージやニュースの要点を聞き取れる。	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。 広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測が付けられる情報を取り出せる。 簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話合いはできる。 通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。	直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。 短い個人的な手紙なら書くことができる。例えばは札状など。	
	A1	はっきりとゆっくり話してもらえば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた話やごく基本的な表現を聞き取れる。	例えば、掲示やポスター、カタログの中によく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えて声にかけて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。 直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	新年の挨拶など短い簡単な葉書を書くことができる。 例えばホテルの宿帳に名前、国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。	

(文化庁 文化審議会国語分科会「日本語教育の参照枠報告」 R3.10.12 P23 より)

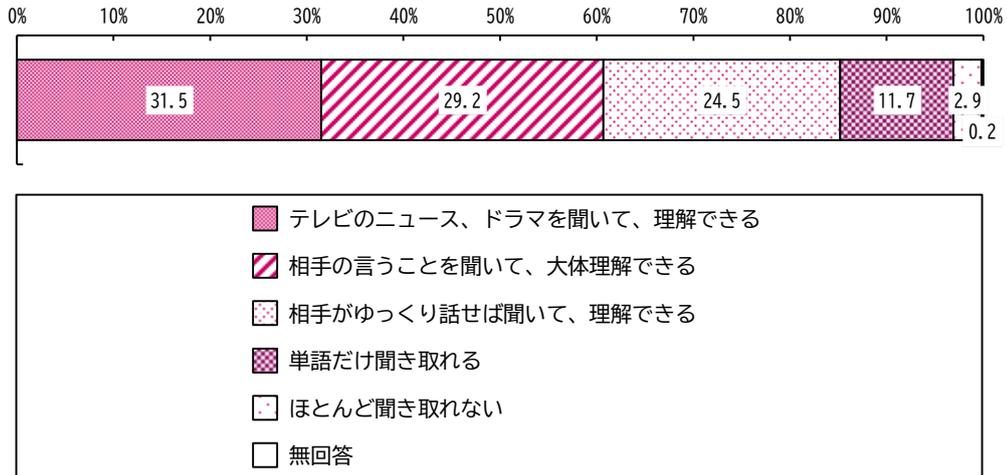
■聞く

- ・ 日本語がどのくらいできるか聞いたところ、「聞く」ことについては、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が31.5%、「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」が29.2%と、この2つがそれぞれ約3割を占めました。
- ・ 「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」が24.5%、「単語だけ聞き取れる」が11.7%、「ほとんど聞き取れない」が2.9%となっています。

あなたは日本語がどのくらいできますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

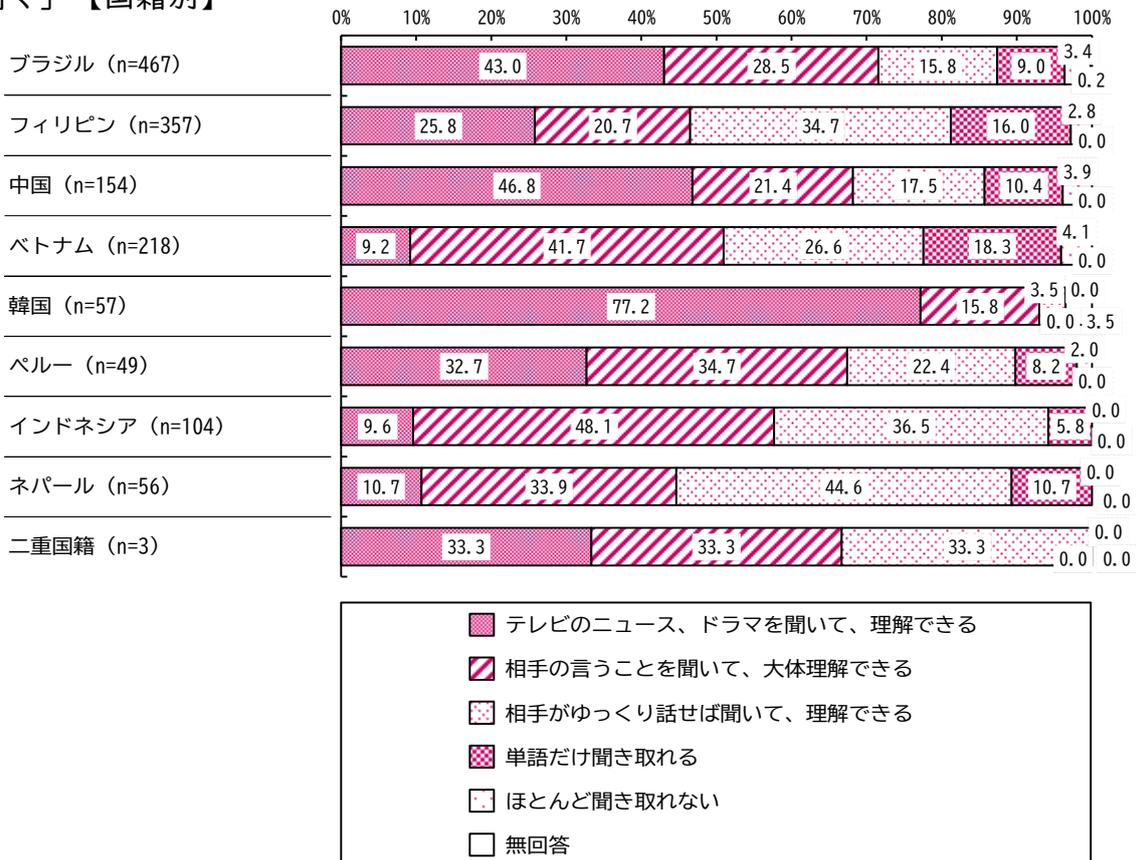
【聞く】

(n=1,467)



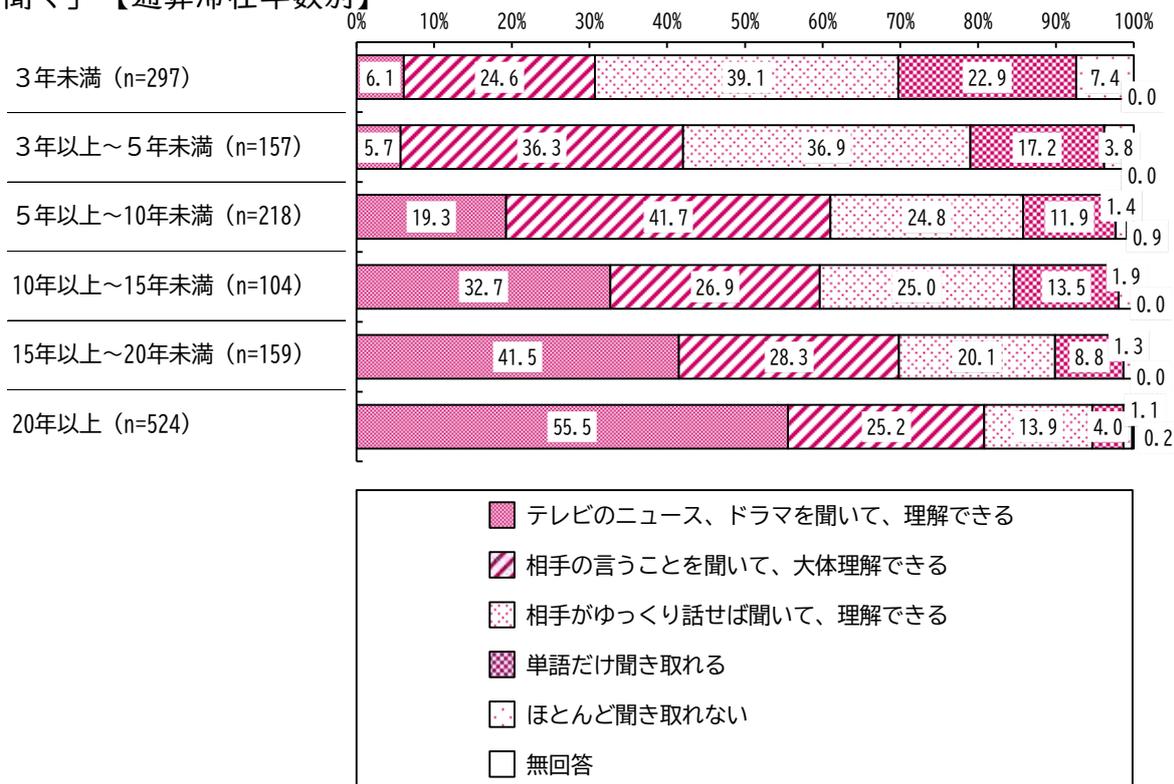
- ・ 国籍別にみると、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」は、韓国で77.2%、中国で46.8%、ブラジルで43.0%と割合が高くなっています。
- ・ 「単語だけ聞き取れる」は、ベトナム18.3%、フィリピン16.0%などが多くなっています。

【聞く】 【国籍別】



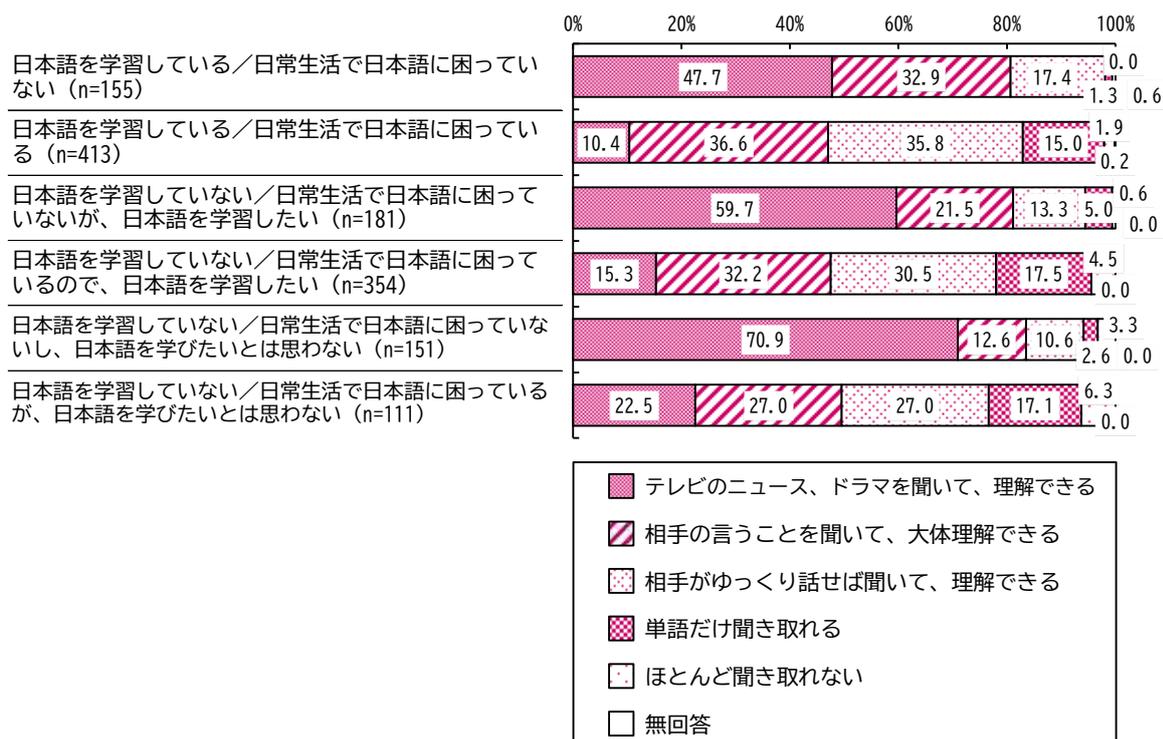
- ・ 通算滞在年数別では、滞在期間が長いほど聞く能力は高くなる傾向にあります。
- ・ 一方、滞在年数が15年以上～20年未満で10.1%、20年以上で5.1%が「単語だけ聞き取れる」「ほとんど聞き取れない」と回答しています。

【聞く】 【通算滞在年数別】



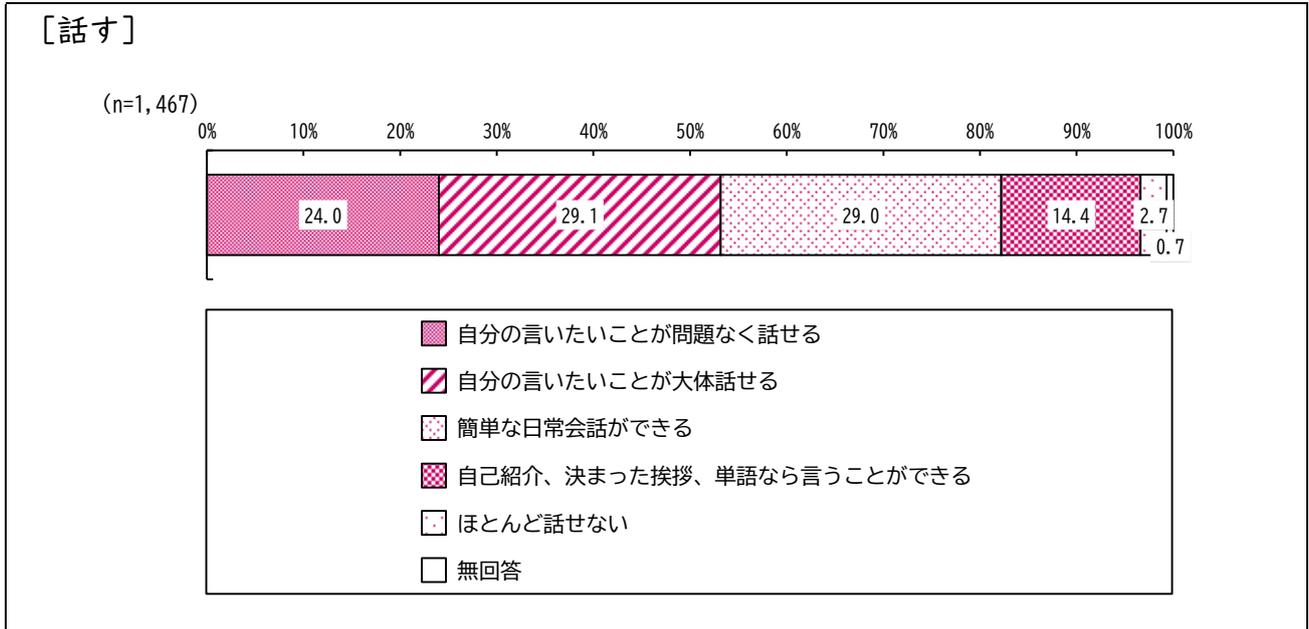
- ・ 日本語能力の6パターン別にみると、「単語だけ聞き取れる」は、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい」で17.5%、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているが、日本語を学びたいとは思わない」で17.1%と多くなっています。

【聞く】 【日本語能力の6パターン別】

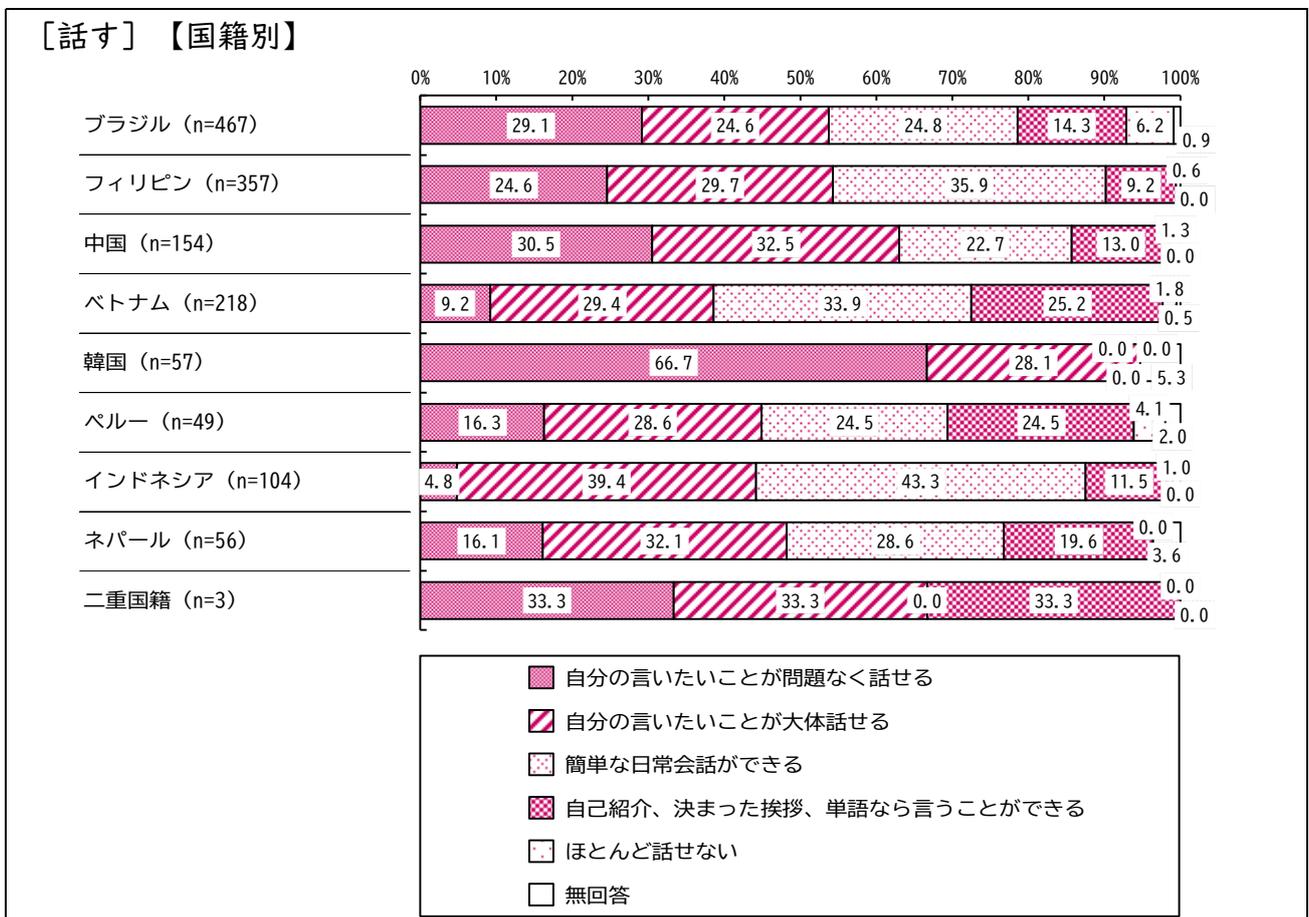


■話す

- ・ 「話す」については、「自分の言いたいことが大体話せる」が29.1%、「簡単な日常会話ができる」が29.0%と、この2つがそれぞれ約3割を占めています。
- ・ 「自分の言いたいことが問題なく話せる」が24.0%、「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」が14.4%、「ほとんど話せない」が2.7%です。

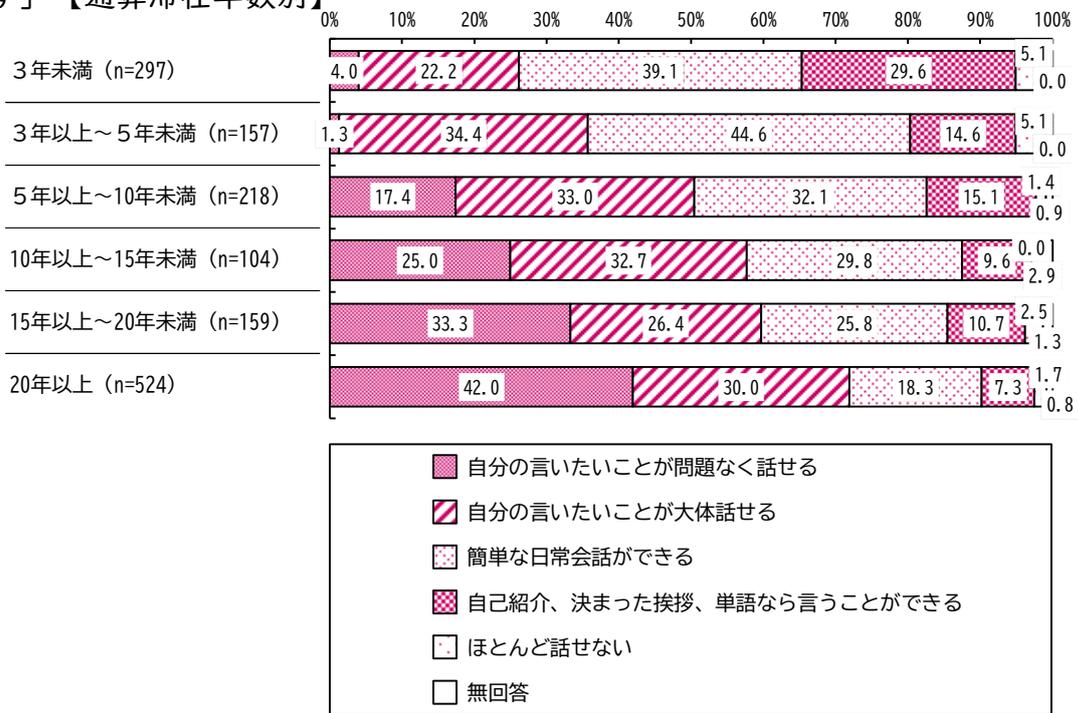


- ・ 国籍別にみると、「自分の言いたいことが問題なく話せる」は韓国で66.7%と多くなっています。
- ・ 「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」は、ベトナムで25.2%、ペルーで24.5%と多くなっています。



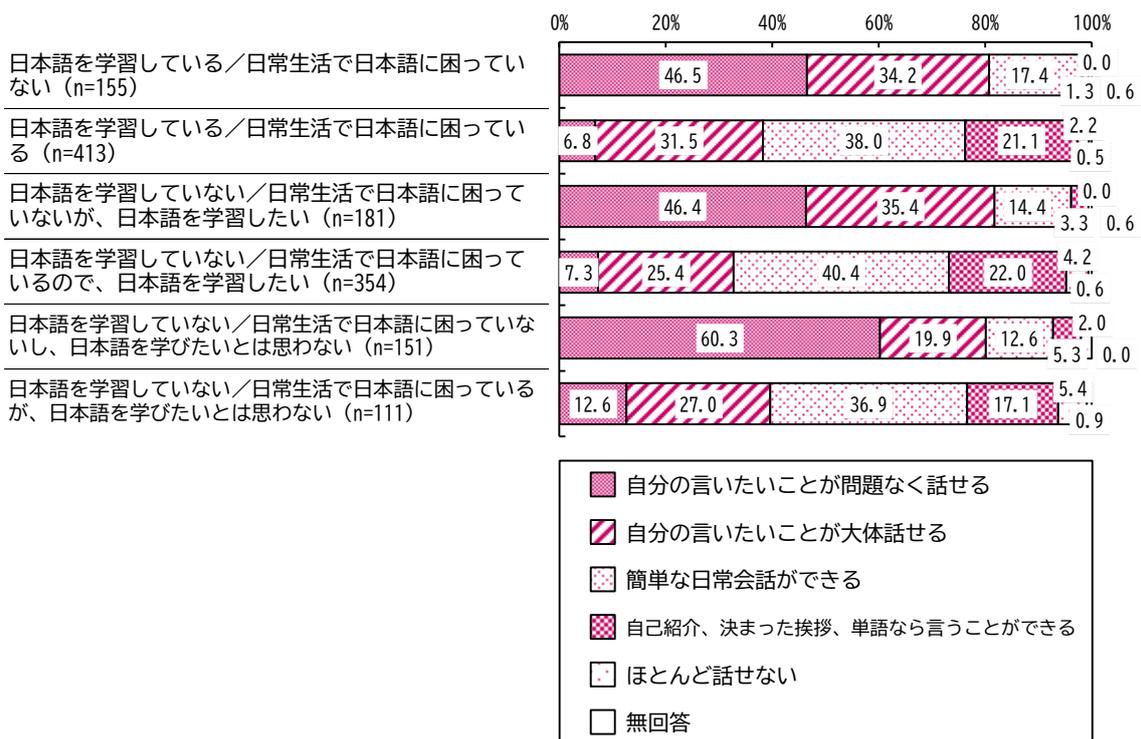
- ・ 通算滞在年数別にみると、3年未満、3年以上～5年未満では「簡単な日常会話ができる」が多く、それぞれ39.1%、44.6%となっています。
- ・ 一方、滞在年数が15年以上～20年未満で13.2%、20年以上で9.0%が「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」「ほとんど話せない」となっています。

【話す】 【通算滞在年数別】



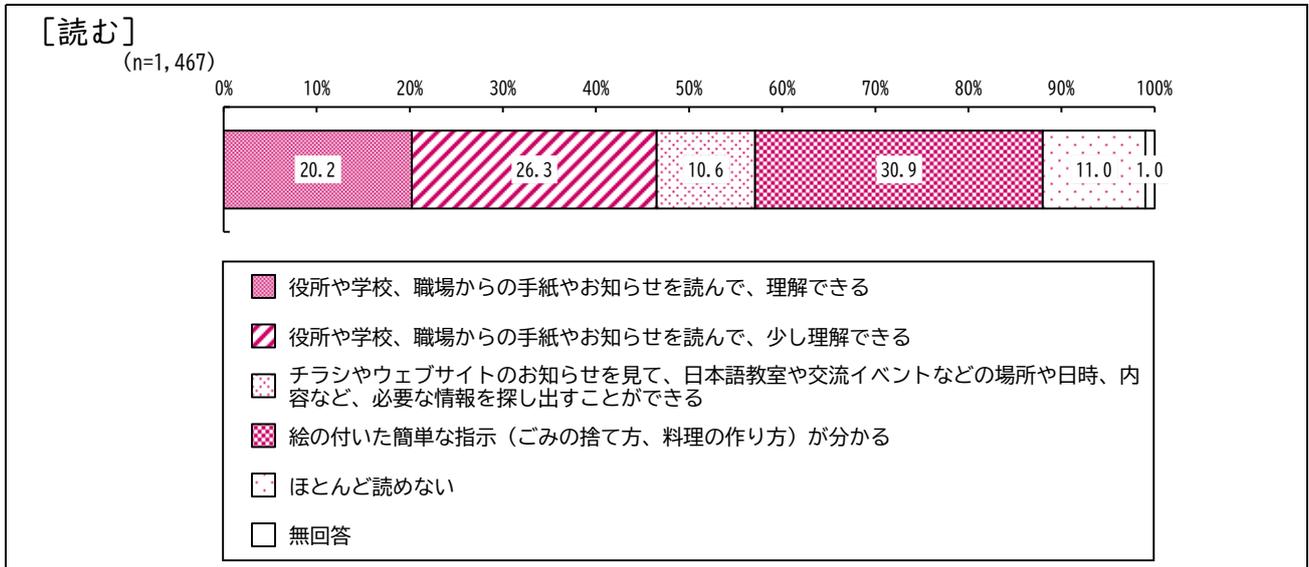
- ・ 日本語能力の6パターン別にみると、「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」は、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい」で22.0%、「日本語を学習している／日常生活で日本語に困っている」で21.1%と多くなっています。

【話す】 【日本語能力の6パターン別】

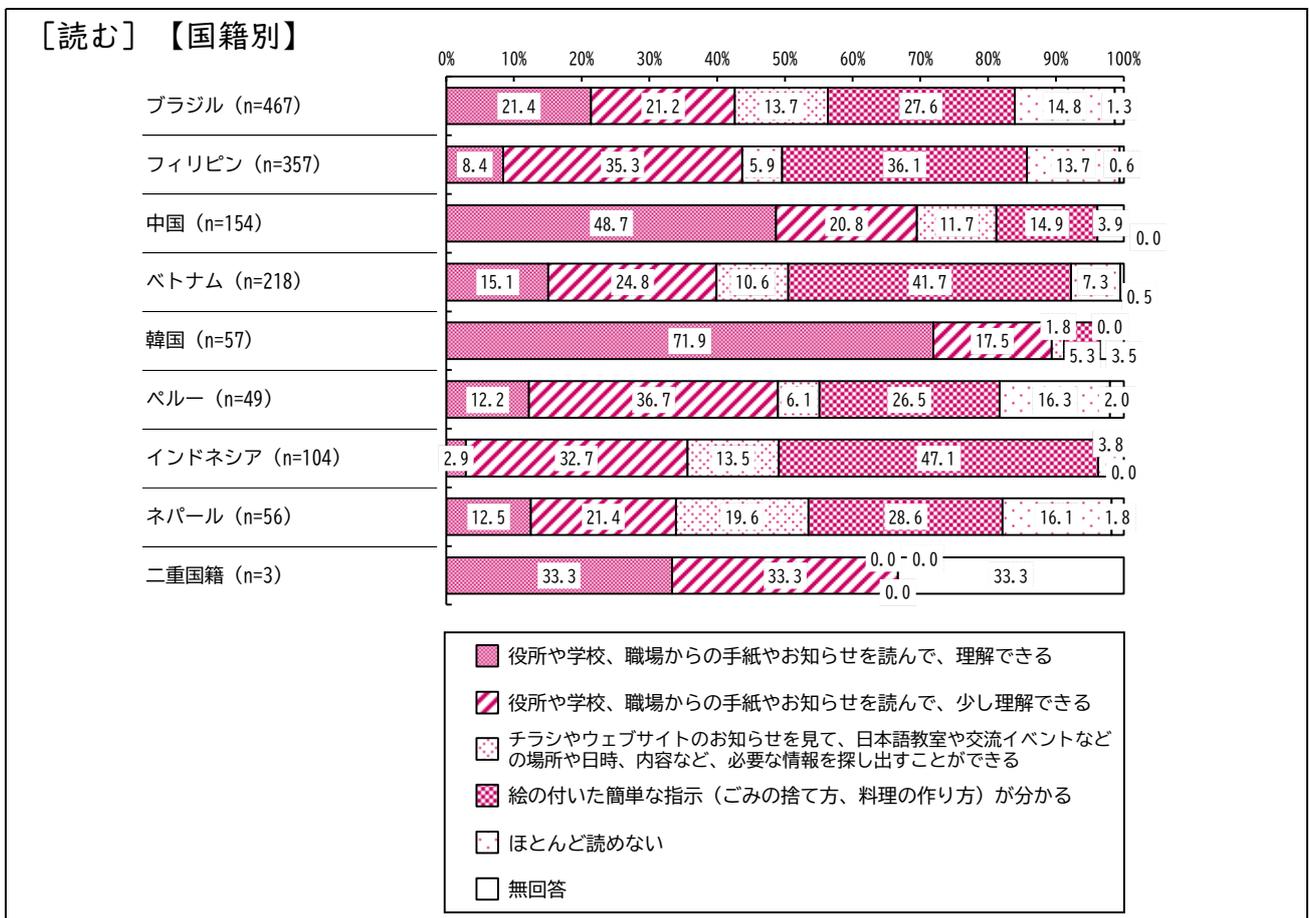


■読む

- ・ [読む] については、「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる」が30.9%と最も多く、次いで「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」が26.3%となっています。
- ・ 以下「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が20.2%、「チラシやウェブサイトのお知らせを見て、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、必要な情報を探し出すことができる」が10.6%、「ほとんど読めない」が11.0%となっています。

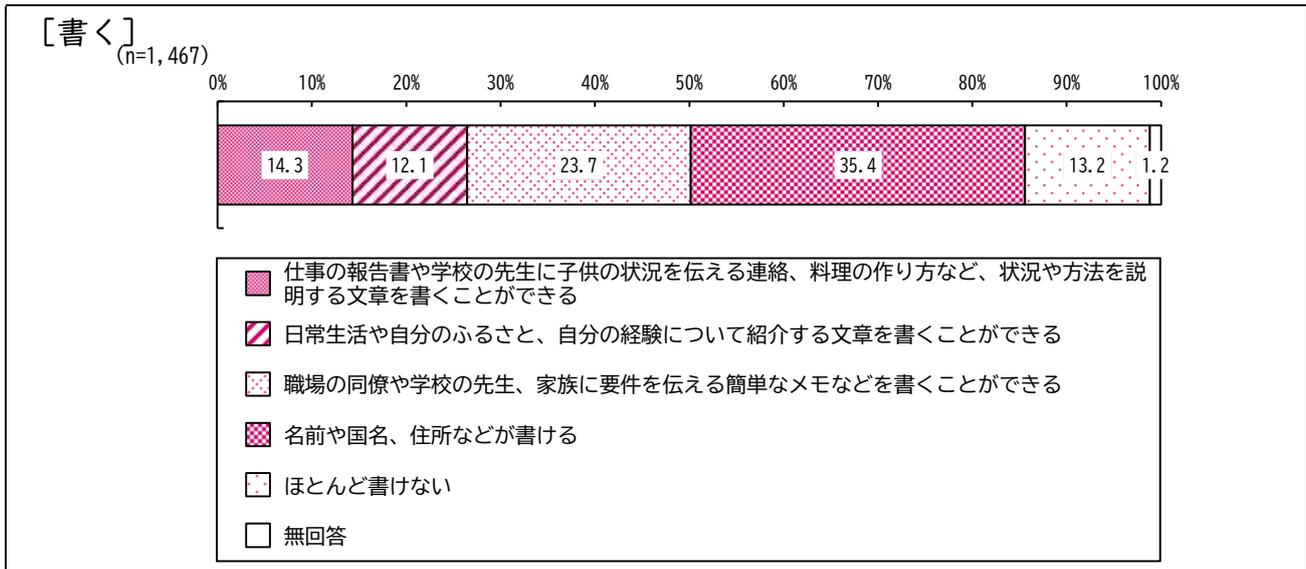


- ・ 国籍別にみると、韓国で「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が71.9%と多く、一方、「ほとんど読めない」はペルー16.3%、ネパール16.1%、ブラジル14.8%などが多くなっています。

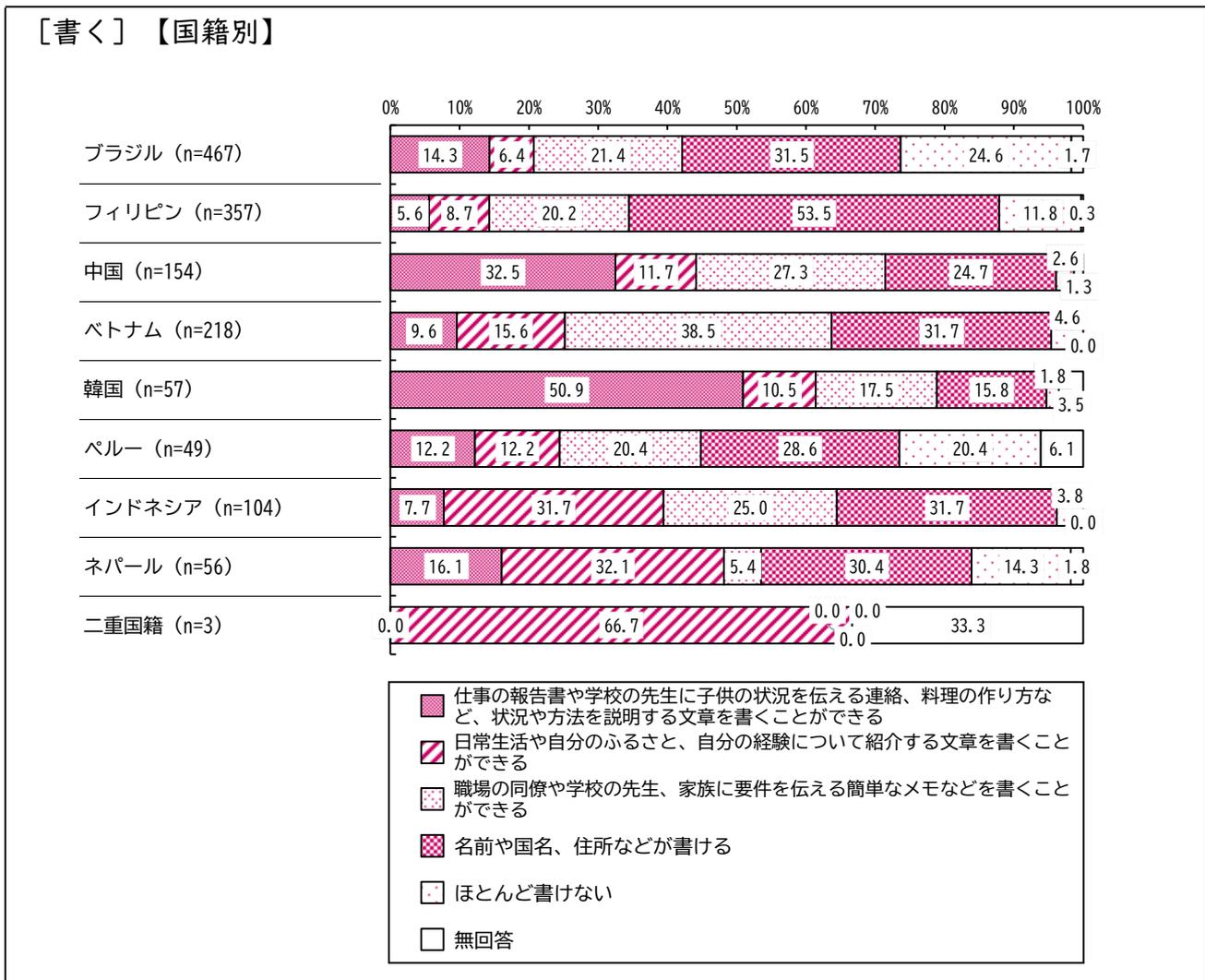


■書く

- ・ 「書く」については、「名前や国名、住所などが書ける」が35.4%と最も多く、次いで「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が23.7%となっています。



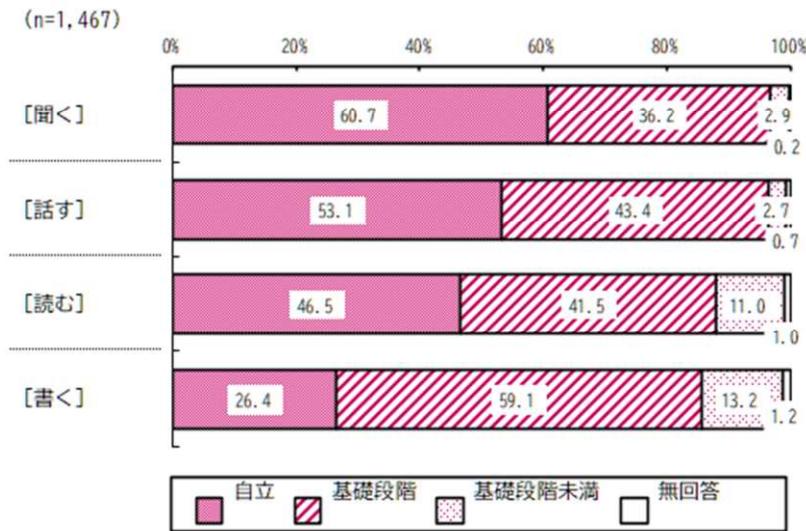
- ・ 「仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」は韓国で50.9%と高くなっています。
- ・ 「ほとんど書けない」はブラジル24.6%、ペルー20.4%などが多くなっています。



■日本語能力の4項目の比較

- 日本語教育の参照枠（P5 参照）に基づき、それぞれの項目を「自立した言語使用者」「基礎段階の言語使用者」「基礎段階未満」に分類すると、聞く > 話す > 読む > 書くの順に、日本語レベルが低くなっています。

【日本語がどのくらいできるか】



■国籍と「自立した言語使用者」の関係

- 国が「地域における日本語教育においてめざすべきレベル」として設定している「自立した言語使用者」と国籍の関係を見ると、特別永住者の多い韓国がどの項目も最も高くなっています。
- 一方、ブラジルでは「聞く」「話す」ができる割合が高く、フィリピンは「聞く」「話す」「読む」が半数程度ですが「書く」は14.3%となっています。
- また、「聞く」と「読む」ではブラジル、「話す」と「書く」ではフィリピンで差が大きく、会話はできて読み書きは難しい状況がわかります。

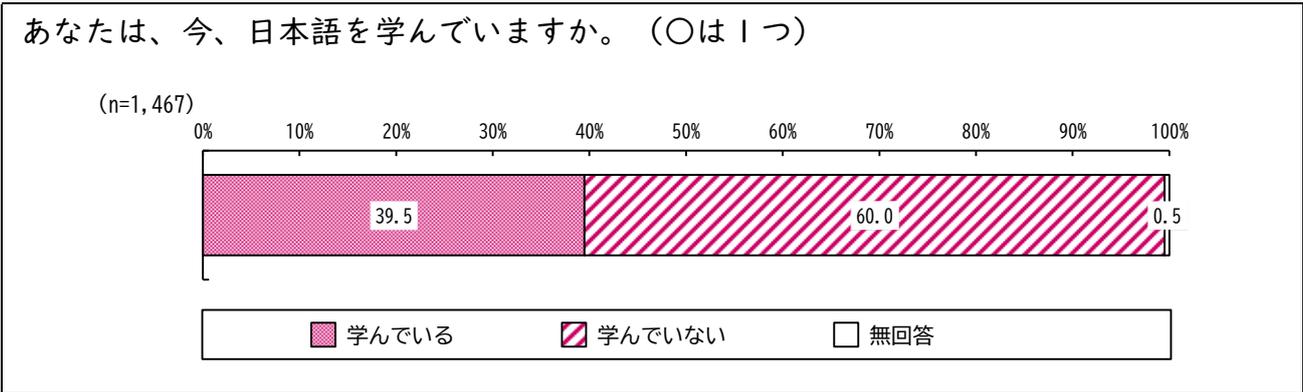
自立した言語使用者の割合（高い順）【国籍別】

	【聞く】	【話す】	【読む】	【書く】	【聞く】と【読む】の差 （【聞く】 - 【読む】）		【話す】と【書く】の差 （【話す】 - 【書く】）	
	高い	韓国 (93.0%)	韓国 (94.7%)	韓国 (89.5%)	韓国 (61.4%)	ブラジル	28.9	フィリピン
↓	ブラジル (71.5%)	中国 (63.0%)	中国 (69.5%)	ネパール (48.2%)	インドネシア	22.1	韓国	33.3
↓	中国 (68.2%)	フィリピン (54.3%)	ペルー (49.0%)	中国 (44.2%)	ペルー	18.3	ブラジル	32.9
↓	ペルー (67.3%)	ブラジル (53.7%)	フィリピン (43.7%)	インドネシア (39.4%)	ベトナム	11.0	ペルー	20.4
↓	インドネシア (57.7%)	ネパール (48.2%)	ブラジル (42.6%)	ベトナム (25.2%)	ネパール	10.7	中国	18.8
↓	ベトナム (50.9%)	ペルー (44.9%)	ベトナム (39.9%)	ペルー (24.5%)	韓国	3.5	ベトナム	13.3
↓	フィリピン (46.5%)	インドネシア (44.2%)	インドネシア (35.6%)	ブラジル (20.8%)	フィリピン	2.8	インドネシア	4.8
低い	ネパール (44.6%)	ベトナム (38.5%)	ネパール (33.9%)	フィリピン (14.3%)	中国	-1.3	ネパール	0.0

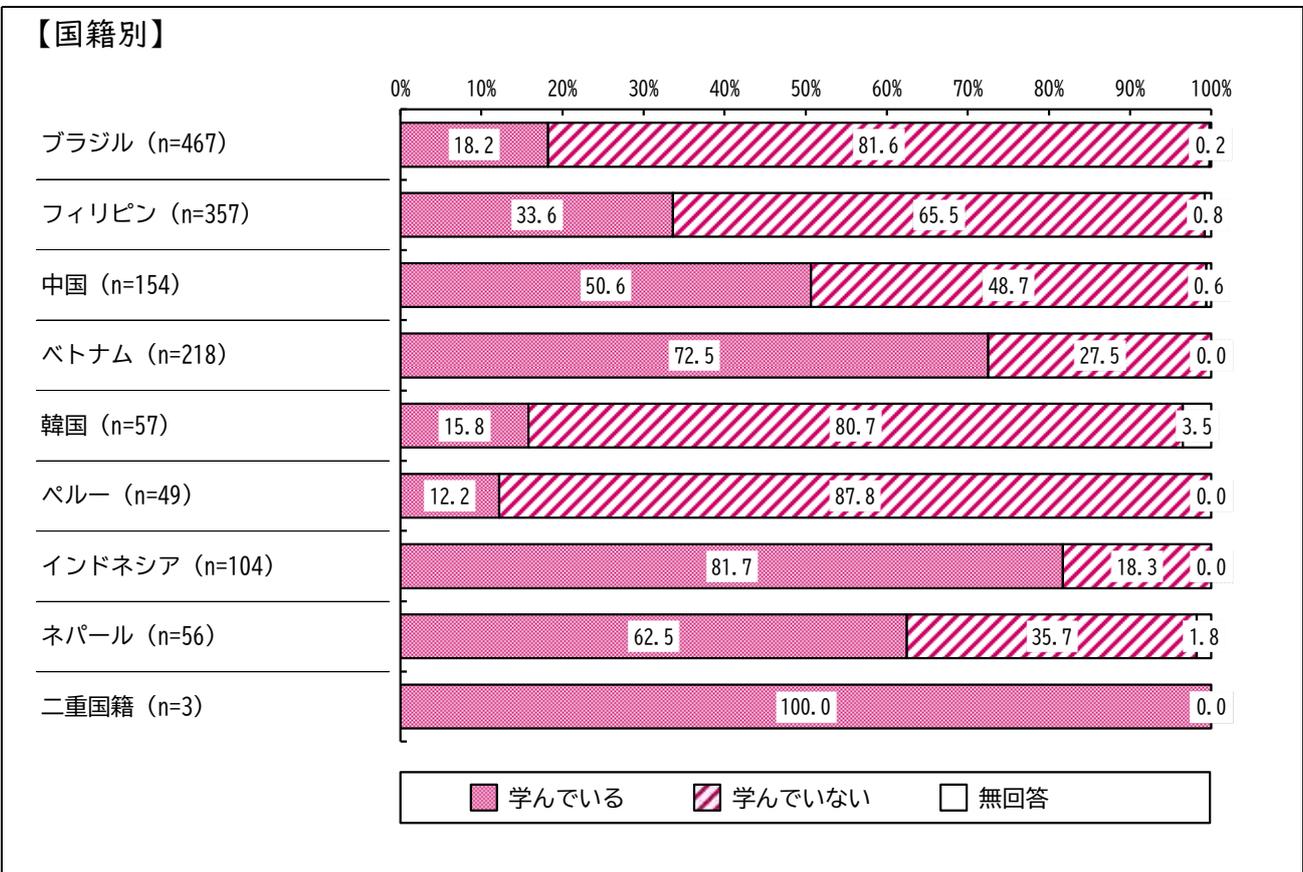
(2) 外国人県民の現在の日本語の学習状況

■日本語を学んでいるか

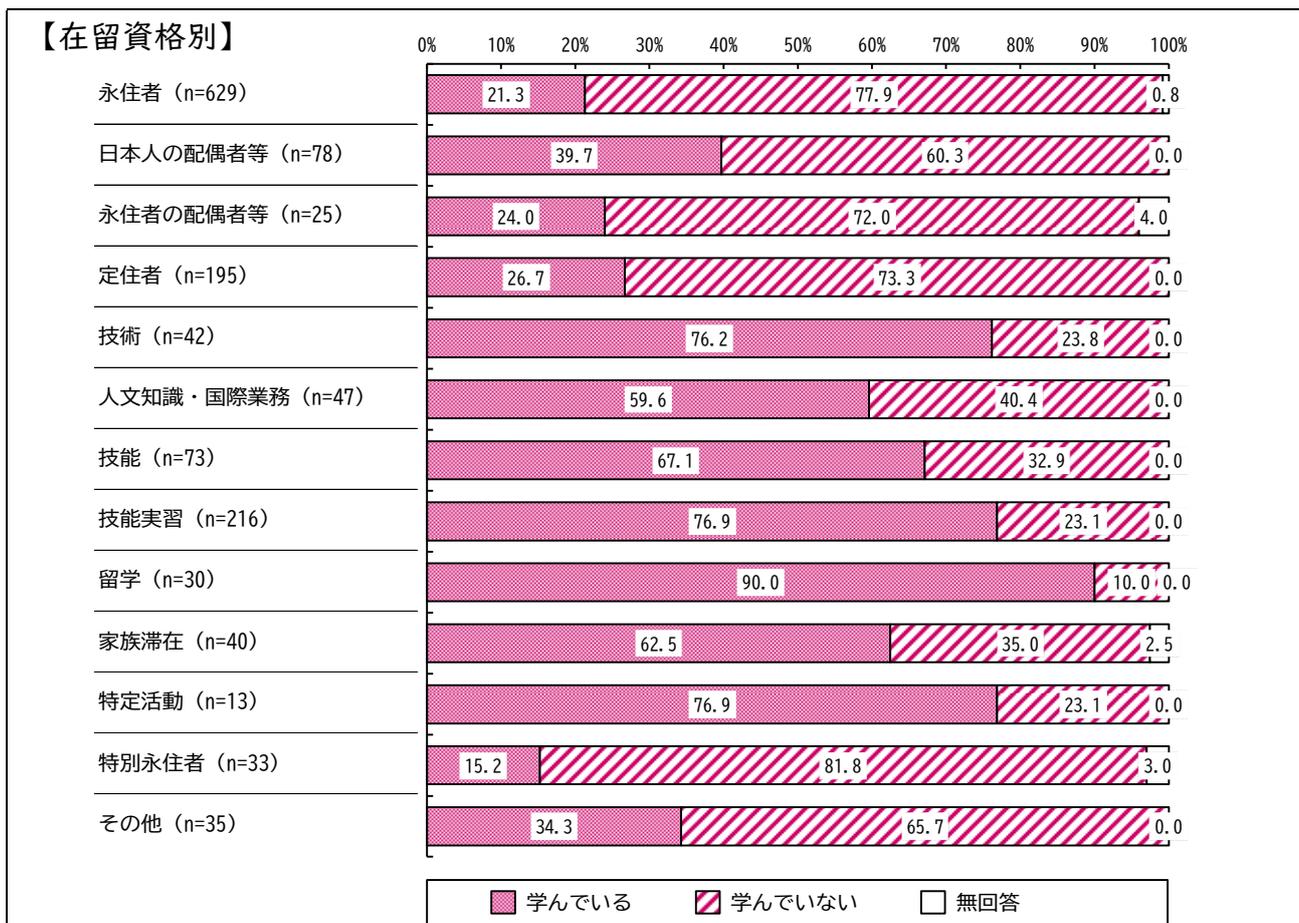
- 現在の日本語の学習状況は、「学んでいる」が39.5%、「学んでいない」が60.0%でした。



- 国籍別にみると、「学んでいる」はインドネシア81.7%、ベトナム72.5%、「学んでいない」はペルー87.8%、ブラジル81.6%、韓国80.7%の順に多くなっています。

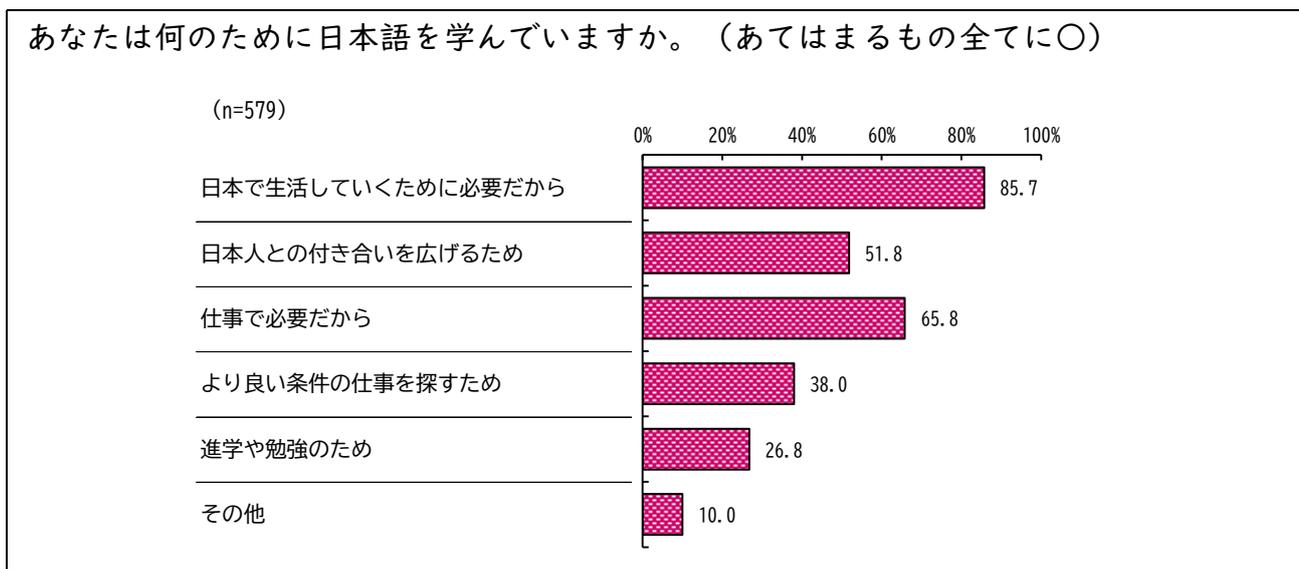


- ・ 在留資格別にみると、「学んでいる」は留学が90.0%、技能実習と特定活動がともに76.9%、技術が76.2%と多くなっています。
- ・ 「学んでいない」は特別永住者81.8%、永住者77.9%、定住者73.3%の順に多くなっています。



■日本語を学んでいる理由

- ・ 日本語を「学んでいる」と回答した人に理由を聞いたところ、「日本で生活していくために必要だから」が85.7%で最も多く、以下「仕事で必要だから」が65.8%、「日本人との付き合いを広げるため」が51.8%でした。



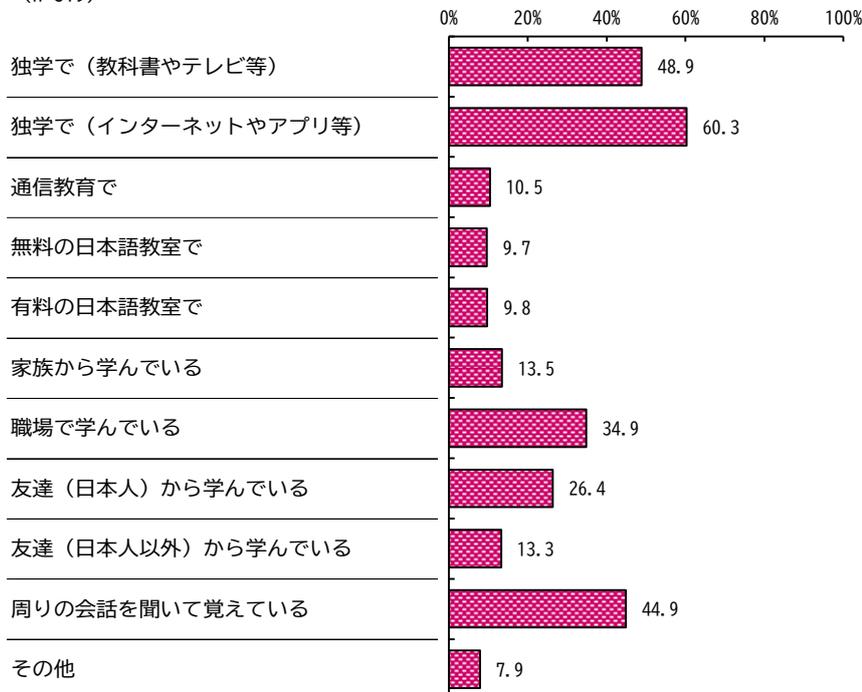
■ どうやって日本語を学んでいるか

- 日本語を「学んでいる」と回答した人に学習方法を聞いたところ、「独学で（インターネットやアプリ等）」が60.3%で最も多く、以下「独学で（教科書やテレビ等）」が48.9%、「周りの会話を聞いて覚えている」が44.9%でした。

「学んでいる」と答えた人は教えてください。

あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。（あてはまるもの全てに○）

(n=579)



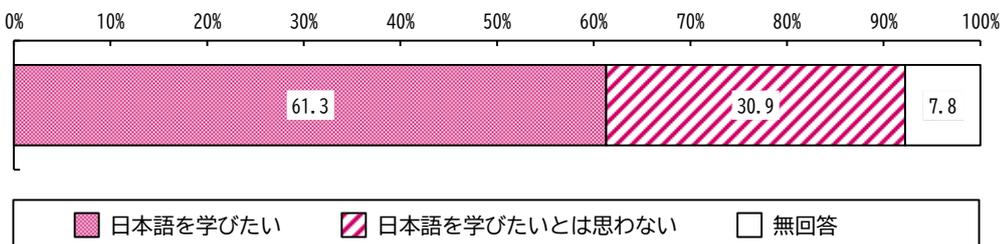
■ 日本語を学ぶ意欲

- 日本語を「学んでいない」と回答した人に日本語を学びたいか聞いたところ、「日本語を学びたい」が61.3%、「日本語を学びたいとは思わない」が30.9%でした。

「学んでいない」と答えた人は教えてください。日本語を学びたいですか。

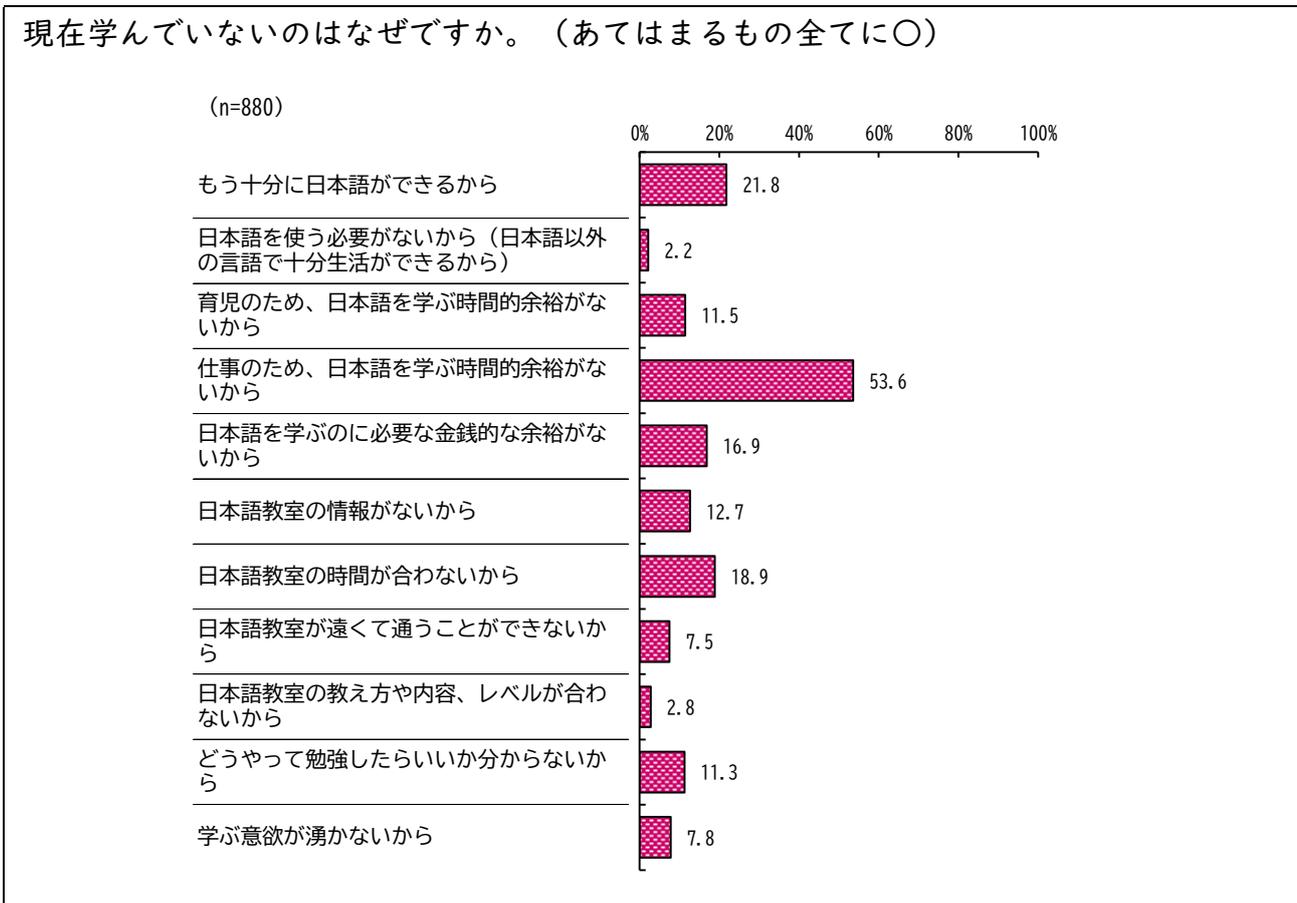
(○は1つ)

(n=880)



■現在、日本語を学んでいない理由

- 日本語を「学んでいない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」が53.6%と最も多く、以下「もう十分に日本語ができるから」が21.8%、「日本語教室の時間が合わないから」が18.9%などとなっています。



- 在留資格別にみると、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」は技術70.0%、定住者67.8%、技能実習64.0%などが多くなっています。
- また、「日本語教室の情報がないから」は留学66.7%、家族滞在35.7%などが多くなっています。

【在留資格別】

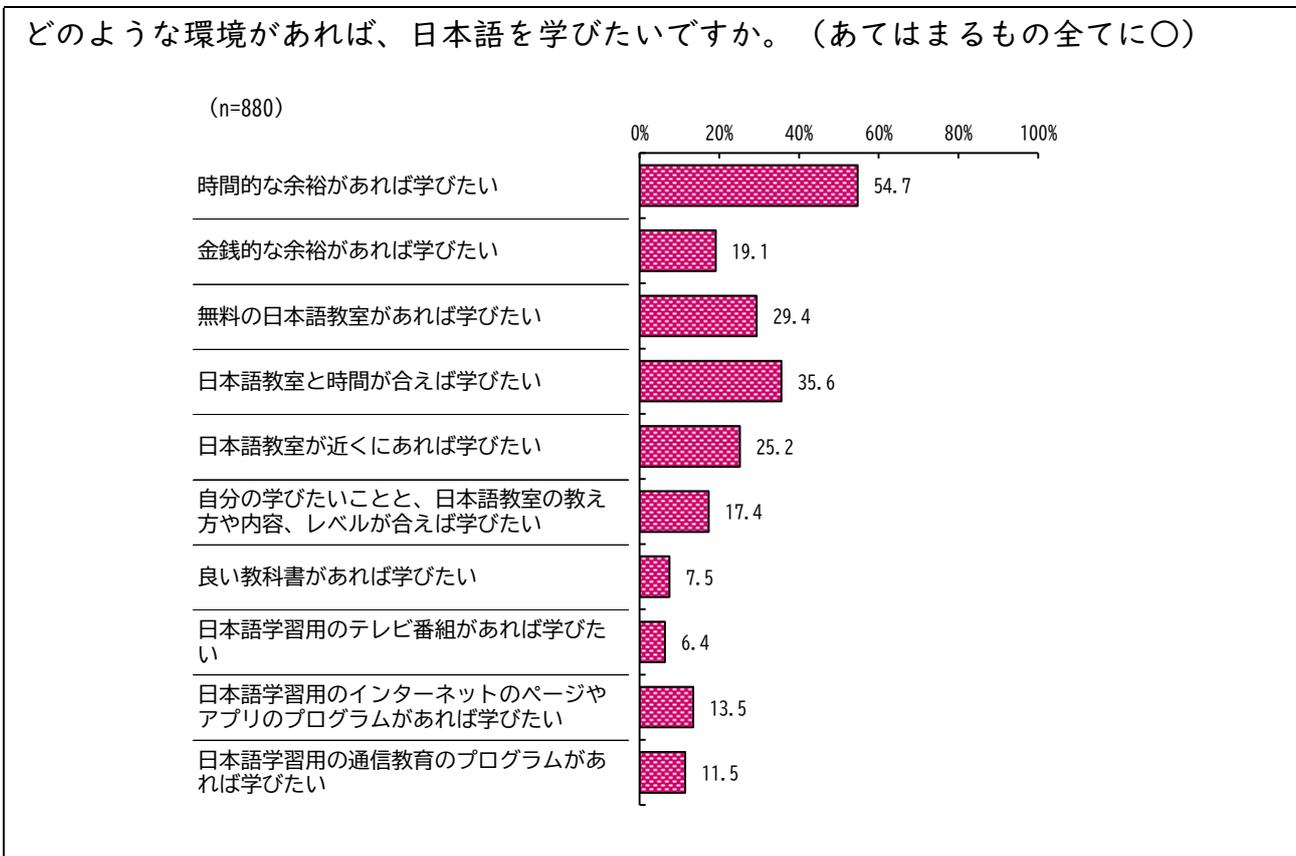
単位 (%)

	調査数 (人)	もう十分に日本語ができるから	日本語を使う必要がないから（日本語以外の言語で十分生活ができるから）	育児のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから	日本語教室の情報がないから	日本語教室の時間が合わないから	日本語教室が遠くて通うことができないから	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	どうやって勉強したらいいかわからないから	学ぶ意欲が湧かないから
永住者	490	26.1	1.4	11.0	52.2	15.3	11.0	19.2	5.9	2.9	6.7	7.6
日本人の配偶者等	47	23.4	4.3	12.8	38.3	19.1	12.8	14.9	4.3	2.1	12.8	8.5
永住者の配偶者等	18	33.3	11.1	27.8	61.1	22.2	22.2	27.8	5.6	0.0	11.1	0.0
定住者	143	10.5	2.1	16.1	67.8	22.4	12.6	21.0	11.2	3.5	14.7	8.4
技術	10	10.0	0.0	0.0	70.0	30.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	0.0
人文知識・国際業務	19	36.8	10.5	21.1	57.9	26.3	10.5	10.5	0.0	0.0	15.8	0.0
技能	24	4.2	4.2	4.2	58.3	20.8	20.8	41.7	29.2	0.0	33.3	8.3
技能実習	50	2.0	0.0	0.0	64.0	18.0	12.0	6.0	4.0	4.0	28.0	10.0
留学	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
家族滞在	14	7.1	0.0	21.4	28.6	7.1	35.7	28.6	7.1	7.1	14.3	21.4
特定活動	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3
特別永住者	27	63.0	0.0	3.7	18.5	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	23	17.4	4.3	17.4	43.5	4.3	26.1	17.4	17.4	0.0	21.7	8.7

※特定活動 66.7%はn=3と少ないため、参考までとする

■ どのような環境があれば日本語を学びたいか

- ・ 日本語を「学んでいない」と回答した人にどのような環境があれば日本語を学びたいか聞いたところ、「時間的な余裕があれば学びたい」が54.7%と最も多く、次いで「日本語教室と時間が合えば学びたい」が35.6%、となっています。
- ・ 以下「無料の日本語教室があれば学びたい」が29.4%、「日本語教室が近くにあれば学びたい」が25.2%などとなっています。



- ・ 在留資格別にみると、「時間的な余裕があれば学びたい」は、永住者の配偶者等61.1%、永住者58.6%、技能実習58.0%、定住者57.3%などで約6割となっています。

【在留資格別】

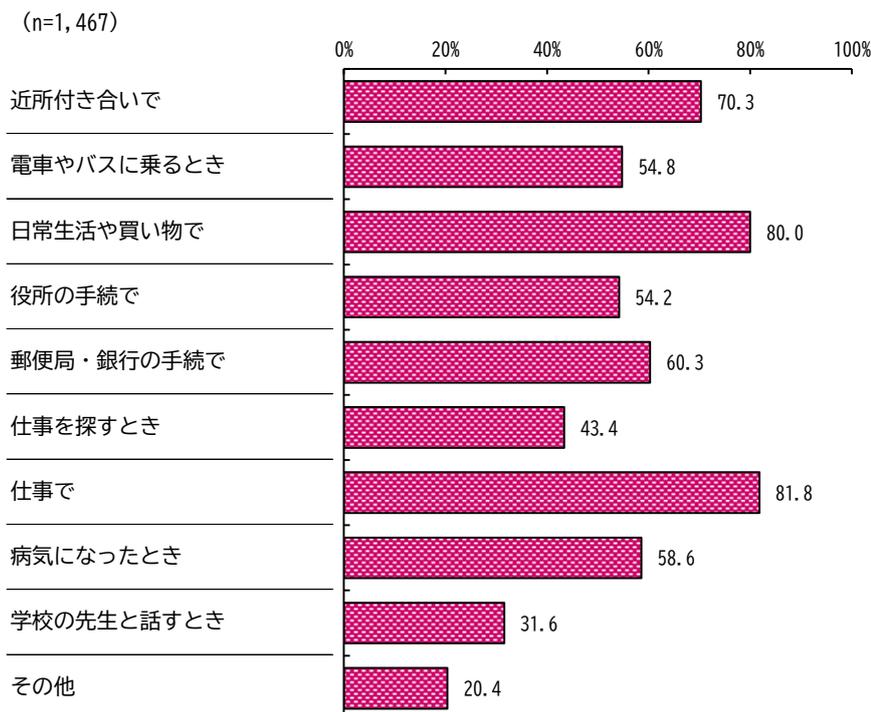
単位 (%)

	調査数 (人)	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	無料の日本語教室があれば学びたい	日本語教室と時間が合えば学びたい	日本語教室が近くにあれば学びたい	自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい	良い教科書があれば学びたい	日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい	日本語学習用のインターネットのページやアプリのプログラムがあれば学びたい	日本語学習用の通信教育のプログラムがあれば学びたい
永住者	490	58.6	20.2	27.8	35.3	23.5	17.3	7.6	6.3	12.9	9.2
日本人の配偶者等	47	48.9	21.3	25.5	19.1	23.4	17.0	2.1	8.5	6.4	10.6
永住者の配偶者等	18	61.1	22.2	27.8	61.1	44.4	22.2	27.8	16.7	27.8	16.7
定住者	143	57.3	21.0	31.5	47.6	28.0	16.1	9.8	6.3	14.0	13.3
技術	10	50.0	10.0	60.0	30.0	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	40.0
人文知識・国際業務	19	52.6	10.5	26.3	15.8	31.6	36.8	0.0	0.0	5.3	15.8
技能	24	37.5	20.8	45.8	41.7	45.8	20.8	12.5	4.2	8.3	12.5
技能実習	50	58.0	16.0	32.0	32.0	24.0	12.0	4.0	4.0	22.0	16.0
留学	3	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
家族滞在	14	42.9	0.0	50.0	42.9	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
特定活動	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0
特別永住者	27	25.9	7.4	11.1	11.1	3.7	3.7	0.0	3.7	3.7	7.4
その他	23	34.8	17.4	34.8	34.8	30.4	17.4	4.3	8.7	30.4	26.1

■日本語を使うとき

- 日本語を使うときは、「仕事で」が81.8%で最も多く、次いで「日常生活や買い物で」が80.0%、「近所付き合いで」が70.3%でした。

次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。（あてはまるもの全てに○）



- 国籍別にみると、「仕事で」はインドネシア 89.4%、ベトナム 85.8%、ブラジル 84.8%、フィリピン 82.9%、「日常生活や買い物で」は中国 83.8%、ネパール 82.1%、「近所付き合いで」は韓国 87.7%などが多くなっています。

【国籍別】

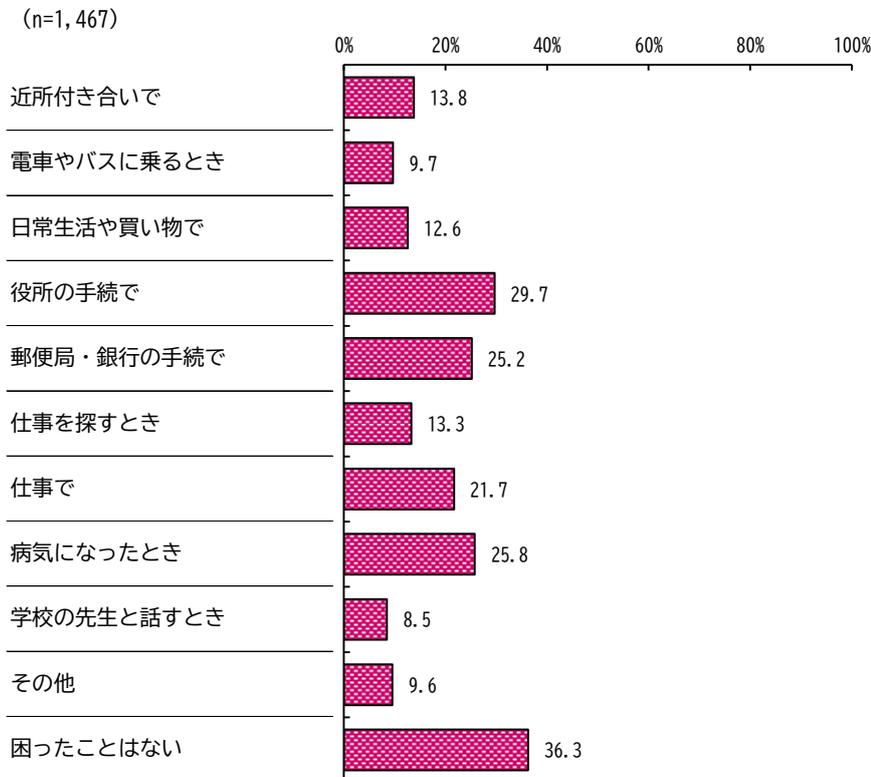
単位 (%)

	調査数 (人)	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	日常生活や買い物で	役所の手続で	郵便局・銀行の手続で	仕事を探すとき	仕事で	病気になったとき	学校の先生と話すとき	その他
ブラジル	467	69.0	48.4	77.7	57.8	67.0	46.7	84.8	65.3	34.0	23.6
フィリピン	357	75.1	58.8	77.0	45.7	54.6	42.3	82.9	54.3	29.4	28.3
中国	154	79.9	53.2	83.8	64.9	64.9	45.5	70.1	61.7	45.5	11.0
ベトナム	218	62.4	59.6	83.9	56.4	63.8	42.2	85.8	53.2	26.6	12.4
韓国	57	87.7	64.9	78.9	70.2	70.2	49.1	68.4	73.7	42.1	21.1
バレー	49	71.4	51.0	73.5	46.9	57.1	34.7	67.3	61.2	30.6	14.3
インドネシア	104	52.9	54.8	88.5	39.4	39.4	26.0	89.4	34.6	11.5	9.6
ネパール	56	67.9	62.5	82.1	60.7	50.0	57.1	78.6	71.4	33.9	26.8
二重国籍	3	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	66.7	0.0

■日本語が不自由なために困ったこと

- 日本語が不自由なために困ったことは、「役所の手続で」29.7%、「病気になったとき」25.8%、「郵便局・銀行の手続で」25.2%などが多くなっています。一方、「困ったことはない」も36.3%と3割以上を占めています。

次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。最近1年間に困った経験があるものを選んでください。（あてはまるもの全てに○）



- 国籍別にみると、「役所の手続で」はインドネシア51.9%、ネパール50.0%、ベトナム42.7%、「病気になったとき」はネパール50.0%などが多くなっています。

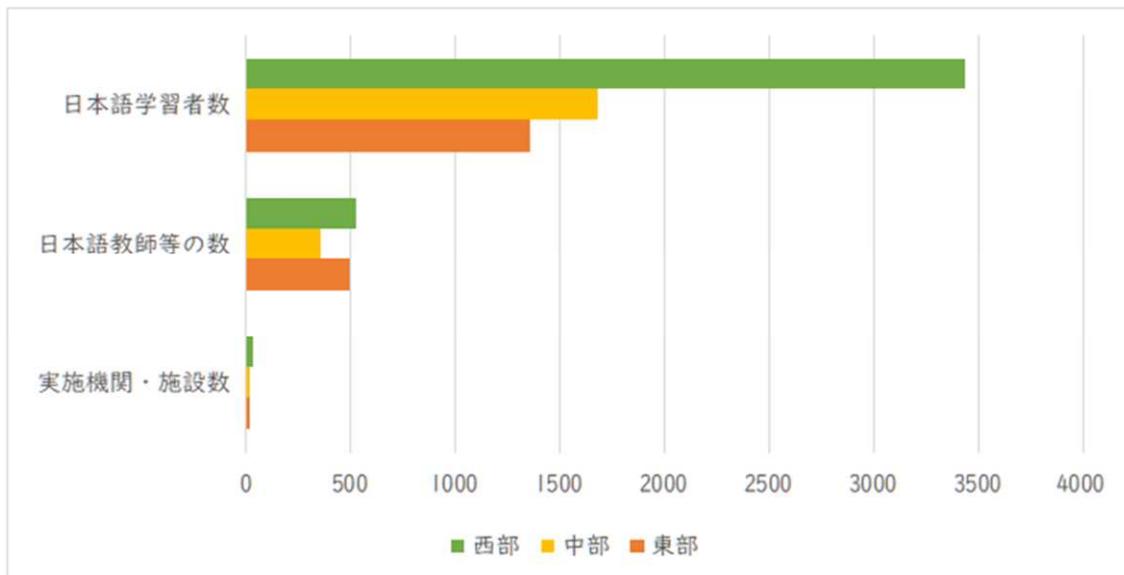
【国籍別】

	調査数 (人)	単位 (%)										
		近所付き合い で	電車やバス に乗るとき	日常生活や 買い物で	役所の手続 で	郵便局・銀 行の手続で	仕事を探す とき	仕事で	病気になっ たとき	学校の先生 と話すとき	その他	困ったこと はない
ブラジル	467	8.6	4.7	11.3	18.8	21.4	11.1	18.4	26.8	8.1	9.9	44.1
フィリピン	357	14.0	8.4	7.6	33.3	20.2	10.4	15.7	24.1	10.1	9.0	39.8
中国	154	11.7	11.0	13.0	21.4	15.6	8.4	12.3	18.8	6.5	7.1	46.8
ベトナム	218	20.2	22.5	21.6	42.7	42.2	21.1	40.4	32.1	8.3	11.0	17.0
韓国	57	5.3	0.0	0.0	10.5	3.5	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	66.7
バレー	49	12.2	0.0	14.3	26.5	22.4	26.5	18.4	26.5	14.3	8.2	24.5
インドネシア	104	24.0	8.7	15.4	51.9	41.3	14.4	38.5	23.1	4.8	10.6	12.5
ネパール	56	25.0	25.0	25.0	50.0	39.3	33.9	32.1	50.0	14.3	16.1	19.6
二重国籍	3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3

(3) 本県の日本語教育の現状

- ・文化庁の調査によると、日本語学習者数は県内全域で6,494人、日本語教師等（日本語ボランティアを含む）は1,384人、日本語教育を実施する機関・施設は77であり、いずれも県西部地域で最も多くなっています。

地域別にみる県内の日本語教育の現状



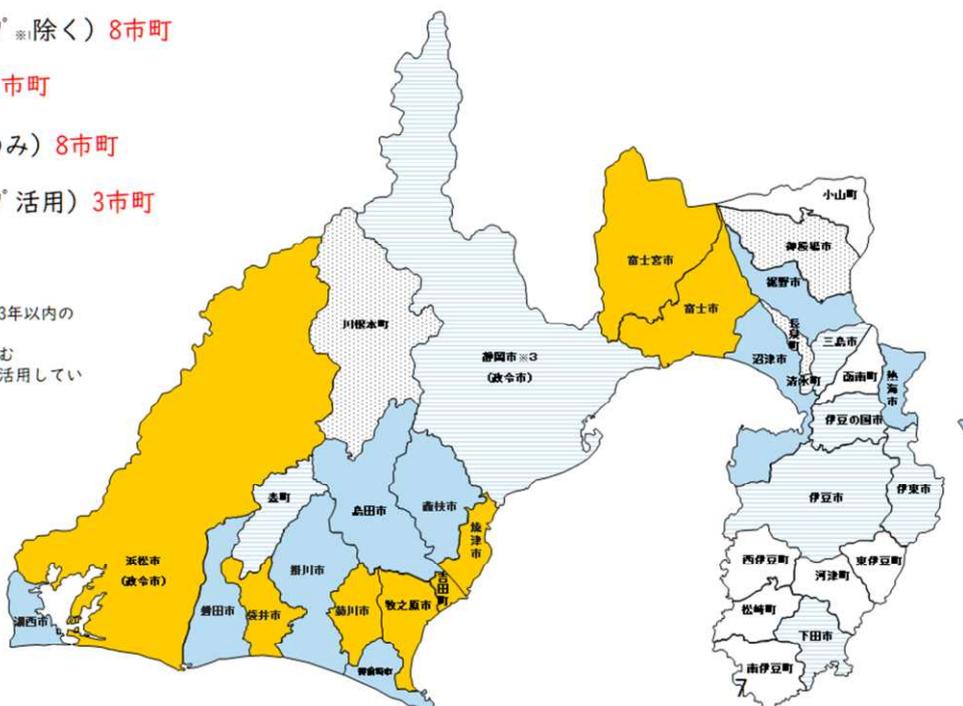
（文化庁 令和4年度日本語教育実態調査をもとに作成）

- ・令和6年度現在の地域における日本語教室の設置状況は、文科省の補助事業を活用して実施する日本語教室が8市町にあり、事業を活用していないものの行政が実施主体となって設置する日本語教室が9市町にあります。
- ・また、国際交流協会やNPO等の民間団体が運営する教室がある市町が8、日本語教室が全くない市町が10あります。うち3市町は、国のスタートアップ事業を活用し、日本語教室の開設を目指しています。

令和6年度 地域における日本語教室の設置状況

- 文科省事業活用（スタートアップ^{※1}を除く）8市町
- 日本語教室あり（行政）9市町
- 日本語教室あり（民間^{※2}のみ）8市町
- 日本語教室なし（スタートアップ^{※3}活用）3市町
- 日本語教室なし 7町

※1 文科省事業。日本語教室がない地域で、3年以内の立ち上げを目指すもの
 ※2 国際交流協会等が自主運営する教室を含む
 ※3 静岡市は市国際交流協会が文科省事業を活用しているが、市との政策的な連携あり



（R6 県多文化共生課調べ）

(4) 日本語教育推進法の認知度

- ・令和元年に施行された「日本語教育の推進に関する法律」の認知度は、15.3%と低い状況です。

